

1月31日・2月1日 中国ブロックにて「保護司のための SST 研修」を開催しました

【中国ブロック】 ホテルセンチュリー 2 1 広島

講師：長迫 美和氏（SST 普及協会認定講師）、西山 圭一氏（SST 普及協会認定講師）、
野口 卓也氏（SST 普及協会認定講師）

参加者：34名（鳥取3名・松江4名・岡山7名・広島10名・山口10名）

まず、SSTの基礎理論とかかわりのポイントなどについて学びました。続いて、具体的なSST場面として「就職面接でいつも不合格になってしまうがどうしてかわからない場面でのSSTの活用の仕方」についての講師によるデモンストレーションがありました。次に、コインマップについての説明があり、隣の席の人とコインマップを体験



SSTの基礎理論についての講義の様子

しました。その後、問題解決技法について演習しました。講師によるデモンストレーションを参考に、「お酒の誘いを断る」をテーマに問題解決技法を用いて2人1組になって面接の練習に取り組みました。



コインマップを体験している様子



問題解決技法を用いた面接の練習の様子

2日目は、ウォーミングアップ（会場までかかった時間を近くの人と会話をしながら順番に並ぶ）から始まりました。

S S Tの大切なポイントなど1日目の復習をした後、

「ほめる」（服装・髪型・表情・声など）ことを学び、

実際に2人1組になり会話をして、それぞれが相手の良

かったところを発表しました。

参加者から「面接時、会話が続かない対象者との接し方」

はどうしたらよいかという質問が出ました。そこで、次の

テーマを「面接を広げていくために」として2人1組で

面接練習をしました。

その後、A・B・Cの3グループに分かれて、グループご

とに場面設定してS S T演習を行いました。最後に、全体

で円の形になりグループの代表者が、グループで取り組ん

だ課題について発表し、2日間の研修が終わりました。

34名の参加者が、10時間の研修を終え、

講師からS S T普及協会規程初級コースの修了証書が授与されました。



ウォーミングアップの様子



相手の良いところを発表



講師が対象者、研修生が保護司となり
デモンストレーションを行っている様子



Aグループの様子



Bグループの様子



Cグループの様子